

## 緒 言

今般の報告は、技能度測定に関するもののみ限定した。

技能度の測定は、職業訓練においては、訓練効果の測定評価をする上に重要であるばかりではなく、訓練目標の達成度を測り或いは訓練修了時の技能度を確定する上に重要なことなのである。

さらに、技能度測定は職業紹介においても、労務管理における賃金査定においても、職業適性検査の妥当性検証にも大切なことである。

即ち、職業紹介では、求職者の技能度を明確にすることは適格紹介上不可欠の要件であり、労働者の賃金査定では、技能度に応じた公正な賃金査定を行なうことが肝要であり、職業適性検査ではその検査の妥当性検証を行なわなくてはならない。そのとき労働者(従業者)の技能度を公正に評価することが要求される。

よって、技能度測定の方法の研究は非常に重要且つ価値のあることである。

われわれは予てから、作業分析と併行して、技能測定問題作成委員会を設置して、問題を作成していたが、被験者を得ることができず、徒らに切角作成した問題を机の引き出しに死蔵しておいた。

雇用促進事業団本部が、専門訓練課程修了予定者に対し、全国一斉卒業試験を実施するに当り、実技試験問題としてわれわれが作成しておいた問題を採用することになり、図らずも7職種について同時に実施することができたので、その結果をここに掲げることにする。

只、残念なことは、被験者が総合職業訓練所専門訓練課程修了予定者のみに限られていることで、事業内訓練生、3、4年の経験者、熟練者などと比較研究が行なわれていないことである。

これらは、今後の問題として、他日にゆずることとする。

なおこの報告書に関しての技能測定の実施については全国総合職業訓練所の指導員がこれにあたり、資料の統計的処理を調査研究部員が下記のように担当した。

自動車整備	古賀一夫
〃	岡村一成
電工・アーク溶接	安江節夫
板金	石橋泰彦
塗装	装手塚太郎
旋盤・仕上	戸田勝也
指導とりまとめ	松本洋

昭和40年9月

調査研究部長